



沖縄県に住んでいると、普段の生活で火山を意識することは少ないと思いますが、県内には、2つの活火山があります（2025年6月現在、火山活動は静穏な状況で、噴火の兆候は認められません）。概ね過去1万年以内に噴火した火山や現在活発な噴気活動のある火山を活火山と定めています。世界に約1500の活火山があり、そのうち日本には111の活火山があって日本は世界でも有数の火山国と言えます。

8月26日は「**火山防災の日**」です。噴火災害から身を守るためには、気象庁が発表する火山防災情報に基づき、噴火警戒レベルに応じた行動をとることが重要です。

「**火山防災の日**」をひとつのきっかけとして、火山災害に備えておきましょう。

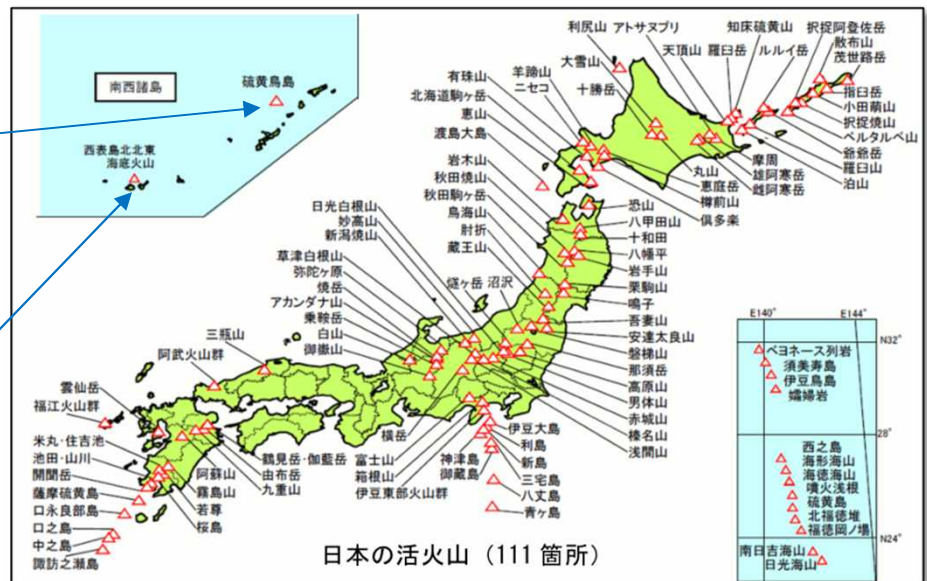
沖縄にある活火山

・硫黄島

1959年の噴火では、島民86人が島外（久米島）に移住した。現在は無人島。

・西表島北北東海底火山

1924年10月31に突如噴火。多量の軽石が排出され、付近の海面一体を埋め尽くし、その後黒潮の流れで日本各地に漂着した。



硫黄島



海上保安庁撮影



○沖縄气象台「**火山防災の日**」の特設サイト

8月26日を「**火山防災の日**」とした理由

明治44年8月26日、浅間山に日本で最初の火山観測所が設置され、観測が始まった日にちなみます。

沖縄にも硫黄島、西表島北北東海底火山の2つの活火山があります。この特設サイトで、火山の魅力・恩恵やその危険性を正しく理解し、火山災害に備えていただければと思います。



●「**火山防災の日**」特設サイト（気象庁HP）

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/kazanbosai/index.html>



地震に関する情報は
沖縄气象台ホームページまで

<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/index.html>

沖縄气象台

検索

